

事業報告書

平成28年度

平成28年4月1日から

平成29年3月31日まで

1. 法人の概要

- (1) 名称 : 学校法人 後藤学園 【昭和22年10月13日法人設立】
- (2) 住所等 : 大阪府大阪市東住吉区北田辺1丁目11番1号
- 電話番号 06-6719-0170
- ファックス 06-6719-0111
- ホームページ <http://www.gotogakuen.com>
- メールアドレス chuo@gotogakuen.com
- (3) 設置する学校 : 名称 中央学園高等専修学校
住所 大阪府大阪市東住吉区北田辺1丁目11番1号
名称 中央ITビジネス専門学校
住所 大阪府大阪市東住吉区北田辺1丁目11番22号
名称 中央幼稚園
住所 大阪府堺市北区新金岡町3丁4番
- (4) 理事長氏名 : 後藤 武治
- 理事 6名 監事 2名 評議員 13名
定例理事会 年2回開催
- (5) 教職員の状況 (H29.5.1 現在)
- 中央学園高等専修学校
- | | | | | | |
|----|----|-----|----|-----|-------|
| 教員 | 専任 | 19名 | 兼任 | 17名 | |
| 職員 | 専任 | 10名 | 兼任 | 6名 | 合計52名 |
- 中央ITビジネス専門学校
- | | | | | | |
|----|----|----|----|-----|-------|
| 教員 | 専任 | 5名 | 兼任 | 11名 | |
| 職員 | 専任 | 2名 | 兼任 | 2名 | 合計20名 |
- 中央幼稚園
- | | | | | |
|----|-----|----|-----|-------|
| 教員 | 29名 | 職員 | 11名 | 合計40名 |
|----|-----|----|-----|-------|

2. 事業の概要

- ・中央学園高等専修学校

(1) 教育方針

普通科・ファッションクリエイター科・保育科それぞれの高度な専門技術の習得と向陽台高校との技能連携による高等学校の教育課程を併せ学習し、社会の有為な形成者としての資質を養い、個性豊かな知・徳・体の三位一体の調和ある人格の育成を目指す。

(2) 課程、学科、修業年限及び定員、実員、学級数の状況 (H29.5.1 現在)

課程	学科	修業年限 (年)	入学定員 (名)	総定員 (名)	実員 (名)	学級数
商業実務高等課程	普通科	3	120	360	244	8
家政高等課程	ファッションクリエイター科	3	40	120	31	3
家政高等課程	保育科	3	40	120	55	3

(3) 入学金・授業料等

(単位 円)

課程	学科	入学検定料	入学金	施設費	校費	授業料
商業実務高等課程	普通科	10,000	100,000	50,000	35,000	384,000
家政高等課程	ファッションクリエイター科	10,000	100,000	50,000	35,000	384,000
家政高等課程	保育科	10,000	100,000	50,000	35,000	384,000

(4) 教育計画

- ・ 4月／入学式・始業式・オリエンテーション・保護者懇談会・健康診断
- ・ 5月／進路説明会・中間テスト・社会見学・修学旅行
- ・ 6月／母校訪問・映画鑑賞・スポーツ大会 (雨天中止)
- ・ 7月／期末テスト・保護者懇談会
- ・ 9月／実力テスト・社会見学・宿泊研修
- ・ 10月／読書感想文発表大会・体育大会・中間テスト・技能競技会・学園祭
- ・ 11月／創立記念日
- ・ 12月／避難訓練・期末テスト・保護者懇談会
- ・ 1月／テーブルマナー講習・社会人マナー講習
- ・ 2月／学年末テスト
- ・ 3月／卒業証書授与式・修了式

(5) 長期計画

毎年、各クラス・生徒の活動を分析・考察し、日々の教育活動 および 年間計画や行事の再検討を行う。

生徒の安心・安全の確保に向け、計画的に施設・設備の整備を図る。

・中央 IT ビジネス専門学校

(1) 教育方針

「愛と誠」の建学の精神を基盤とし、「蛭雪の誓い」を常に堅持して心身ともに健全で豊かな情操を備え、進展する実業社会に貢献できる高度な専門技術を身につけ、心技体ともに調和のとれた社会人の育成を目指す。

(2) 課程、学科、修業年限及び定員、実員、学級数の状況 (H29.5.1 現在)

課程	学科	修業年限 (年)	入学定員 (名)	総定員 (名)	実員 (名)	学級数
商業実務専門課程	情報ビジネス学科	2	80	160	52	2

(3) 入学金・授業料等

(単位 円)

課程	学科	入学検定料	入学金	施設費	授業料
商業実務専門課程	情報ビジネス学科	15,000	100,000	50,000	720,000

(4) 教育計画

- ・ 4月／入学式・始業式・オリエンテーション・個人面談・健康診断
- ・ 5月／春季集中講座・社会見学
- ・ 6月／海外研修旅行・スポーツ大会 (雨天中止)
- ・ 7月／期末テスト・保護者懇談会・夏季集中講座
- ・ 8月／夏季スクーリング・インターンシップ
- ・ 9月／実力テスト・合宿スクーリング・社会見学
- ・ 10月／秋季集中講座・学園祭
- ・ 11月／創立記念日・スポーツ大会
- ・ 12月／期末テスト・保護者懇談会
- ・ 1月／社会見学
- ・ 2月／学年末テスト
- ・ 3月／卒業証書授与式・修了式

(5) 長期計画

毎年、各クラス・学生の活動を分析・考察し、日々の教育活動 および 年間計画や行事の再検討を行う。

学生の安心・安全の確保に向け、計画的に施設・設備の整備を図る。

・中央幼稚園

(1) 《教育方針》

～「一人ひとりの命輝く」保育を目指して～

- 一人ひとりの子どもの能力や特性を大切にし、
- 一人ひとりの子どもが生き生きと育つように、
- 一人ひとりの子どもに即したきめ細かな保育を行い、
- 一人ひとりの子どもの可能性を伸ばしていく。

《具体的な教育目標》

- 健康でたくましい心身の育成に努める。
- 豊かな道徳性の育成を図る。
- 自主性をはぐくみ、豊かな創造性を培う。
- がまん強くやりぬく力を育てる。
- 創造性を高め、情操を豊かにする。
- 正しい言葉づかいを身につける。
- 安全教育を徹底する。

(2) 各学年の定員、実員、学級数

(H29.5.1 現在)

学年	定員(名)	実員(名)	学級数
満3歳児	25	7	1
3歳児	125	105	6
4歳児	210	118	4
5歳児	240	114	4
合計	600	344	15

(3) 保育時間

- ・月・火・木・金曜日 午前10時～午後2時30分
- ・水曜日 午前10時～午前11時30分
- ・土曜日 休園
- 〈夏季休業日〉 7月25日～8月31日 夏季保育5日間
- 〈冬季休業日〉 12月25日～1月7日
- 〈春季休業日〉 3月21日～4月7日

(4) 給食

- ・月・木・金曜日 給食
- ・火曜日 弁当

(5) 保育料及び諸経費

- ・保育料 満3歳・3歳児 24,000円/月 年額288,000円
4歳・5歳児 22,000円/月 年額264,000円
- ・バス維持費 (バス利用者のみ) 3,600円/月

(6) 入園時の費用

- ・入園料 50,000円
- ・施設費 10,000円
- ・バス申込金 4,000円 (バス利用者のみ)

(7) 預かり保育

- ・月～金曜日 設定保育終了時から午後6時30分まで
- ・園休業日 午前8時～午後6時30分
- ・費用 月極利用 6,000円 (8月のみ8,000円)
臨時利用 600円 (園休業日 800円)

(8) 行事の実施状況

- ・4月/入園式・始業式・五月人形を見る会・身体測定・幼年消防クラブ入隊式
- ・5月/お誕生会 (4・5月誕生児)・交通安全教室・園外保育・内科検診
尿検査・ぎょう虫検査・じゃがいも掘り
- ・6月/歯みがき集会・歯科検診・避難訓練・親子遠足・日曜参観・個人懇談
プラネタリウム見学・視力検査・プレ教室・おなか元気教室
- ・7月/お誕生会 (6・7月誕生児)・プール開き・七夕笹飾り・消防とのふれあい
盆踊りの夕べ
- ・9月/お誕生会 (8・9月誕生児)・未就園児体験入園・入園説明会
公開保育 (未就園児保護者)・保育参観
- ・10月/運動会・堺まつり大茶会・どんぐりひろい・ファミリー参観
- ・11月/お誕生会 (10・11月誕生児)・創立記念日・消防署見学
秋の遠足・防火キャンペーン・二署一所訪問・地域のお茶会
- ・12月/クリスマス音楽会・おもちつき・給食参観
- ・1月/お誕生会 (12・1月誕生児)・雪遊び
- ・2月/お誕生会 (2・3月誕生児)・節分遊び・造形展・おひなさまを見る会
年長クラス小学校体験
- ・3月/お別れ会・避難訓練・入園準備説明会・卒園式・修了式

(9) 課外活動

- ・体操クラブ
- ・英語クラブ
- ・茶道クラブ
- ・サッカークラブ
- ・音楽クラブ

(10) 安全対策

警備員常駐、監視カメラ、オートロック、非常通報装置、保護者章・来園者章
避難訓練、交通安全教室実施

(11) 子育て支援

教務主任・保育主任を中心に、各担任教諭が保護者の子育てに関する相談に応じる。子育てに関する種々の情報を、園だよりやホームページを通して保護者に提供する。未就園児クラス（いちご教室）の設置 および 複数回、親子教室（プレ教室）を開催することにより、未就園児の親子登園を促す。

(12) 長期計画

子どもたちの健やかな育ちの形成に向け、毎年、各クラス・園児の活動を分析・考察し、日々の保育活動 および 年間計画や行事の再検討を行う。

園児の安心・安全の確保に向け、計画的に施設・設備の整備を図る。